

新たな「いしかわの水産業振興ビジョン（仮称）」（案）のポイント

基本的な考え方

漁業者の減少や漁船の老朽化が進展する状況において、新規就業者の確保育成や漁業収益の向上を促進するとともに、北陸新幹線金沢開業後のニーズの変化への対応や、資源の持続的利用に取り組み、魅力ある水産業を創造する。

現行ビジョンの施策と成果

【魅力ある漁業経営の確立】

- 新規就業者確保やスキルアップ対策の推進
- 新たな魚種の養殖を開始

【機能的な流通システムの確立】

- 県外への販路開拓・拡大への支援
- 県産水産物の商標登録の推進

【水産資源の回復と維持】

- 漁業者による資源管理計画の策定
- 藻場保全活動の推進

課題

○漁業者の確保

- ・農業における就業者確保対策の成果を水産業へ応用することが必要

○漁業収益の向上

- ・操業コストの削減による経営改善が必要
- ・養殖業の経営の安定化が必要

○新幹線開業による県産魚の需要増加への対応

- ・高鮮度な水産物の供給拡大が必要
- ・地域の特色ある水産物の知名度向上が必要

○持続的な資源の利用

- ・より効果的な資源管理手法の普及が必要
- ・里海の豊かな自然の維持が必要

新たなビジョンの主な取組み

【意欲ある人材の確保・育成】

- 新規漁業就業者の確保と定住促進
 - ・ILACや漁業就業支援フェアを活用した石川の漁業の魅力発信
 - ・漁業の現場や漁村の暮らしを体感できる現地見学会の開催
 - ・就業生活アドバイザーの配置による移住就業後のフォローアップ
- 担い手の育成
 - ・わかしお塾の拡充による漁労技術等研修の充実

【水産業の収益性の向上】

- 収益の改善による競争力の強化
 - ・国制度の活用による新たな漁船の導入
 - ・漁場位置の予測技術を活用した漁船の操業の効率化
- 養殖経営体の安定した収入の確保
 - ・新たな養殖対象種の導入による複合飼育技術の確立

【ニーズの変化に対応した商品づくりと販路の拡大】

- 需要に応じた供給体制の確立
 - ・高度な鮮度管理に対応した出荷施設の整備
 - ・一次加工施設の整備と冷凍による出荷時期の調整
- 地域の特色ある水産物の魅力発信
 - ・能登とり貝・海女採り等のブランド化の推進

【里海資源の持続的な利用促進】

- 天然資源の管理と増殖の推進
 - ・漁業者による小型魚保護や漁期短縮、稚魚の放流等の実施
- 藻場の保全と有効活用
 - ・母藻の設置や増殖場の整備による藻場の保全

未来へつなぐ魅力ある水産業の創造